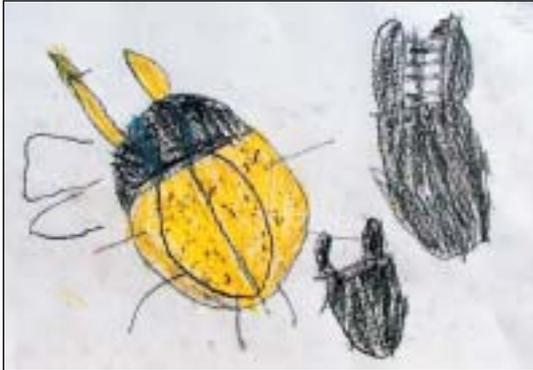


野田保育園

あおき みちこ  
青木美智子先生



わたなべてっぺい  
渡邊哲平くん(5歳)

おじいちゃんと一緒に捕まえた大好きな虫たちを、力強く描けました。



すぎうらふう か  
杉浦風花ちゃん(5歳)

家から見える海を描きました。すてきな思いが伝わってきそうです。



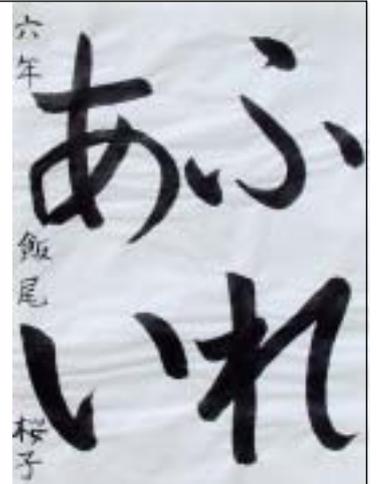
田原中部小学校3年  
いわさき  
岩崎ゆめさん



がようし  
画用紙からはみ出るほど、自分の顔をのびのびと描くことができました。



田原中部小学校6年  
いいおさくらこ  
飯尾桜子さん



やわらかい筆づかいで、文字からも温かさが伝わってきます。

人口と世帯数

総人口	43,445人
男性	22,101人
女性	21,344人
世帯数	13,337世帯
出生	18人
死亡	11人
転入	48人
転出	49人
増減	6人

平成15年9月1日現在  
増減は8月20日-31日

行政面積

106.40km<sup>2</sup> 平成15年8月20日現在

「表紙」  
今月の  
手筒。吹き出す炎は頬を、降り注ぐ火の粉は法被を焦がす。締めは爆音とともに筒の底を抜く、はねこ。暴れる筒を押しさへ込み、大地に投げつける。ある人は恐怖だと言う。確かに暴発しない保証は無い。数千グラムの火薬が満載された筒を抱きかかえて火をつける。かちかち山だ。正気の沙汰ではない。ある人は快感だと言う。頭を真っ白にして火の粉のシャワーを浴びる。非日常。だからこそ、火薬が尽きて日常に戻ったときの開放感は何物にも代え難いと。生きている、そう感じる。危険と隣り合わせだから、分かることもある。世の中、やはり石橋は叩いて渡るべきかもしれない。でも、本当に必要なのは最初の一步を踏み出す勇氣。百の言葉より、一つの確かな行動を。それが何より雄弁だ。(M)